

Title	トイレトペーパー業界における競争戦略
Sub Title	
Author	石川直樹(Ishikawa, Naoki) 青井倫一
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	1994
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 1994年度経営学 第1057号 複写許諾が必要
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001994-1057

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

学生氏名	石川 直樹	主査	青井 倫一
所属	(株式会社 駿河銀行)	副査	藤枝 省人
			嶋口 充輝
所属	青井 倫一 研究室		

トイレットペーパー業界における競争戦略

本論文の目的は、中小トイレットペーパーメーカーにとっての成長戦略を探ることにある。

トイレットペーパー業界はかつては、中小企業が主力となっていた産業であるが、近年大手企業の本格進出がみられる。また、市況の低迷も加わり、中小メーカーにとっては生き残りさえ困難な状況にある。大手メーカーと中小メーカーの最大の差は、前者がパルプ原料を用いているのに対し、後者が古紙原料による製品を製造していることである。

本論文においては、産業組織論のフレームワークに従い業界構造分析を行った後、消費者および小売店段階での購買行動について分析している。さらに、本業界における成長企業の抽出とその成長要因の分析を行った。

研究の結果、業界分析から得られた知見による成長要素、及び事例研究から得られた成長要因について検討すると、本質的な成長戦略は以下の3点に要約できた。すなわち各企業のとるべき行動（戦略）として、第一に流通への交渉力を強化すること、第二に環境保護活動、製品PR等マーケティング活動を重視すること、そして第三に協業化、共同事業化の検討を行うこと、のいずれか或いは複数を実行することである。さらに、製紙技術、古紙処理技術を活かせる分野であれば、事業領域を拡大するという戦略も考えられる。各企業は紙の新分野、新用途を提案できる体制を持つべきである。